

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 346

■ 次世代自動車センターフォーラム2026

次世代自動車センター浜松では、毎年4月に、経済産業省自動車課様による基調講演により国の動向を把握するとともに、年ごとにテーマを設定したトークセッションや次世代自動車センター浜松の活動報告及び新年度の事業計画の説明などを内容とする「次世代自動車センターフォーラム」を開催しています。

本年度の「次世代自動車センターフォーラム2026」では、来賓の皆様からご挨拶をいただいた後、「次世代自動車など自動車産業を巡る動向と自動車産業関連施策」と題して、経済産業省自動車課 伊藤課長 様による基調講演をはじめ、当センターの事業方針の一つのサプライチェーン基盤強化支援の一環として、金融機関様、静岡県信用保証協会様と連携して、小規模企業を対象に取り組んでいます「現場改善活動」をテーマに、金融機関、行政機関の皆様にご参加いただきパネルディスカッションを開催し、併せて成果事例のパネルを展示しました。また、堀センター長から当センターの活動報告と今年度の事業計画を説明しました。

■日 時： 2026年4月21日（火）13時30分～17時

■場 所： グランドホテル浜松

■参加者： 106社／198名

第1部 開会	
13:30～14:00	<p>主催者挨拶 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 理事長 長田 繁喜</p> <p>来賓挨拶 経済産業省関東経済産業局長 岩田 泰 様 静岡県経済産業部部長代理 片瀬 諭 様 浜松市副市長 内藤 伸二郎 様 浜松商工会議所会頭 齊藤 薫 様</p>
第2部 基調講演	
14:00～14:45	<p>演題「次世代自動車など自動車産業を巡る動向と自動車産業関連施策」 経済産業省製造産業局自動車課 課長 伊藤 政道 様</p>
第3部 フォーラム	
15:00～15:45	<p>次世代自動車センター浜松の活動報告及び今年度の事業計画について 次世代自動車センター浜松 センター長 堀 算伸</p>
15:45～17:00	<p>パネルディスカッション テーマ：「金融機関との連携による現場改善活動の取組みについて」 司 会 次世代自動車センター浜松 センター長 堀 算伸 参加者 静岡銀行執行役員浜松営業部長 吉村 重幸 様 浜松いわた信用金庫副理事長 三輪 久夫 様 遠州信用金庫常務理事 井上 勝 様 静岡県信用保証協会常務理事 小松 日出人 様 静岡県経済産業部理事 渥美 寿之 様 浜松市産業部部長 北嶋 秀明 様 ※会場内で「現場改善活動」取組の成果事例をパネル展示</p>
16:50	閉会

【開会】



【主催者挨拶】



【来賓挨拶】

＜関東経済局長 岩田 様＞



＜静岡県経済産業部 片瀬 様＞



＜浜松市副市長 内藤 様＞



＜浜松商工会議所会頭 斉藤 様＞



【基調講演】 ＜経済産業省 伊藤課長 様＞



【フォーラム】

＜次世代自動車センター浜松の活動報告＞



【パネルディスカッション】

＜現場改善活動の取組状況報告＞



＜パネルディスカッション＞



【パネル展示：技術CDによる説明】



【参加者の声】

<基調講演>

- ・各国における政策動向やマーケットの状況をわかりやすく整理いただいたほか、政府の支援スタンスに対する理解も深めることができ、大変有益だった。
- ・自動車業界を取り巻く状況がよくわかった。EV化は衰退しているのではなく、マルチパスウェイにより確実に市場は増えていることがわかった。
- ・現在のモビリティに対するCO2削減、中東情勢を踏まえた燃料油石油製品等課題に対する分析もわかりやすくご教示いただいた。
- ・各種データによるマーケットやトレンドの説明をいただきわかりやすかった。中東情勢に関する最新情報や政府の取組事例など参考になった。
- ・日本国内のEV化の認識と世界の認識の違いを理解することができた。
- ・ミカタプロジェクトの事例や自動車関税引き上げによる影響が大変参考になった。
- ・EVの世界的動向、生産物資のサプライチェーン動向、石油製品の安定供給確保、これらが参考になった。
- ・EV市場の動向、自動車分野への政府の取組が理解できた。重要物資のサプライチェーンに関する対応の理解が深められた。
- ・自動車部品サプライヤーとして危惧している米国関税、石油、レアアース、半導体の最新動向について大変参考になった。

<次世代自動車センター活動報告>

- ・次世代自動車センターの取組内容、その目的、あるいは活動の中で出た現場の意見など、非常に勉強になった。
- ・2026年度の計画について知ることができたので、継続してセミナーやワークショップに参加したいと思った。
- ・新しい担当者が貴センターの活動を理解するのに大変良い場となっている。とてもわかりやすくご説明いただいた。
- ・自動車のEV化により仕事量が減少するであろう中小企業に支援活動をしていることが良いと思った。
- ・分野に関わらず多数の企業（県外含む）が会員となっており、研究・調査を進んで行っていることがわかり、良い刺激になった。EVに目が行きがちだったが、マルチパスウェイの考え方より、幅広く検討していく必要があることに気づけた。
- ・ベンチマーク活動は大変有益な取組であり、積極的に活用させていただいている。自動車工学基礎講座を今後も活用させていただきたい。
- ・デジタルものづくり対応支援事業について意義のある活動と感じた。最近の人手不足問題の解決策でもあり、事業者が手軽に取り組めるデジタル化支援を引き続きお願いしたい。

<パネルディスカッション>

- ・ワークショップでの具体例を挙げながらのコメントが多かったため、現場改善の効果を具体的にイメージすることができた。
- ・実際の支援実施先からの声をフィードバックいただいたことで、取組みの成果と課題が確認できた。
- ・各金融機関から見た「現場改善活動」の重要性や課題感について知ることができた。
- ・自社は大企業にあたるが、中小企業と同様に5S改善は継続的な課題となっているので参考となった。各企業レベルを考えた視点であり、地道な活動だが大変重要と思った。
- ・異業種の改善事例に対して、多くの具体的な事例がBefore、Afterで紹介されて、わかりやすかった。
- ・どこの企業も5Sと在庫管理が大切であることを再認識できた。成果や効果も見える化すると定着すると思った。
- ・金融機関との連携による現場活動を行っていることを知った。改善活動をすることで収益向上につながるという基本的なことを確認できた。
- ・実際の事例を聞いて参考になった。外部が入ることにより第三者の意見が入り、よりよい改善ができるのではと思った。